

高速道路料金割引に関するアンケート

調査対象；50社(内、県内の高速道路を主に利用する事業者；6社)
回収率；100%

今回の割引は、時間帯とか距離制限等割引内容が複雑であることに併せて、土日祝日の自家用車の流入で、走行環境が悪くなったことや事故の増加が懸念される等「トラック業界への配慮が足りない」という回答が多かった。

また、経済効果は、自家用車よりトラック運送業の方がより大きいといった意見も寄せられた。

鹿児島県トラック協会では、これらの結果を踏まえ、「営業車特別割引制度の創設」について、関係機関などに要望していくこととしている。

- 割引制度の認知は、**調査対象全社が知っていた**。
- 深夜に加え昼間割引による利用頻度については、**80%が変わらない**と回答
 - ・その理由について尋ねたところ、
 - ①割引額が少ないが25%
 - ②利用勝手が悪いが12%で、**約4割が制度そのものに不満を持っている**。
 - ③その他・無回答が63%で、
 - ・経費節減のため、時間の許す限り一般道を利用している
 - ・荷主から高速道路料金が収受できないといった回答
 - ・増えたとした県内の高速道路を利用する事業者は2社で、その理由は高速料金が割安になったと回答
- 利用時間帯について尋ねたところ、昼間割引が導入されても**「時間帯に関係なく利用している」との回答が54%**
県内の高速道路を主に利用する事業者は、4社が回答
- 土日祝の交通量について尋ねたところ、**「ほぼ全社(49社)が増加した」と回答**
 - ・走行環境については、「非常に悪くなった」と回答したのが36%で、**「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせると、「ほぼ全社(49社)が悪くなった」と感じている**。
 - ・曜日について尋ねたところ、「日曜日」と回答したのが60%
- 今回の割引制度が、「トラック業界に配慮されているか」を尋ねたところ、**「72%が思わない」と回答**、県内の高速道路を主に利用する事業者は、思うと2社が回答
- この割引制度の導入で、工夫した点があるかを尋ねたところ、「ない」と回答したのが86%
- 県トラック協会が「営業車割引制度の創設」を要望していることについて尋ねたところ、**「ほぼ全社(48社)が支持する」と回答**
- 「期限付きのこの制度の延長」について尋ねたところ、**「ほぼ全社(49社)が希望する」と回答**
- 料金の割引が運賃に影響したかどうかを尋ねたところ、「10%(5社)が影響した」と回答した。